

国際交流委員会 2023 結果および 2024 計画・組織

組織 計 7 名 * 順不同・敬称略

メンバー	氏名	支部	理事/ 会員	所属
委員長	五月女 由紀子	東日本	理事	杉野服飾大学
事務長	松岡 依里子	本部	理事	国際ファッション専門職大学
委員	上田 哲也	関西	理事	上田学園理事長
	中村 茂	本部	理事	元神戸松蔭女子学院大学
	土屋 淳二	本部	理事	早稲田大学
	Francesco Formiconi	本部	会員	ディーゼルジャパン
	菊田 琢也	本部	会員	昭和女子大学

活動報告

目標	ファッションおよびファッションビジネスに関係のある海外および国内の学会・学者・書籍・論文・文化・価値観など様々な情報の収集、発信、交流に務めることで、学会員の活性化に寄与する
2023 結果	*2022 年度はアフターコロナであるため、コロナ流行期間中の国際交流が難しかったこともあった。そのような中でも、これまでの国際交流の成果を発表してもらった。「フランス IFM のファッション教育について」と題して、中村先生にリモートでパリ・ファッションについて講演いただいた。フランスにおける、ファッション産業と政府、関連産業、教育機関との強い連携、そして大学やシンクタンクとの連携によって、社会・歴史・文化・哲学との関連を深く探求する方向性も見られることが述べられた。ソルボンヌ大学の博士課程との連携などが注目される。
2024 計画	*2023 年度については、本委員会における議論をさらに深めるためには、国際交流委員会の目的と方法を明確にする必要があると思われる。国際交流委員会でどのような議論をすべきか。また日本のファッションビジネスの活性化のために、どのような国際交流をすべきかを議論すべきか。インドが世界一の人口になると言われるように、国際的な市場のあり方に大きな変化が予想される。どのような国の市場について情報収集すべきか議論しアクセスすべきか研究する必要があるだろう。

以上